

# 宮城大学 後援会報

## Vol.34

発行  
平成23年4月30日

発行者  
〒981-3298  
宮城県黒川郡大和町学苑1-1  
宮城大学後援会  
TEL 022(377)8381

編集  
宮城大学後援会事務局

### 随想

## 学長として歩んで

馬渡尚

後援会の皆さま、八年間、お世話になりました。この間、宮城大学を応援し、多大なご協力を賜りまして、感謝に堪えません。

皆さまの大事なお子様をお預かりする宮城大学は、優れた教育を行う卓越した大学でなければなりません。設備が整い、立派な先生たちと親切な職員がそろっていて、熱心に学生の人たちを教育し指導し、優秀な「人材」を輩出できる大学でなければなりません。そんな思いで務めてきた八年間でした。

不思議なことです。この間、一度も病気で休んだことがありません。毎日、朝から夕方まで、仕事は、大小、山ほどありました。県立大学の学長には、とりわけ緊張が伴います。県という設立団体と単独で向き合います。県議会、市町村、県内高等学校、県民・住民の方々からも注目されています。保護者の方々もすぐ近くにおられます。



最初の二年間は、深刻な問題があつて、立て

直しに努めました。皆さんで建学の理念を再確認し、「宮城大学の理念」を定めて、これを拠り所としました。

次の二年間は、食産業学部を加えて三学部となり、国際センターや地域連携センターなどの組織を整備し発展に努めました。平成18年の一〇周年記念式典では、小椋佳の学歌「風上の息吹」を歌い、「東北の卓越した教育研究拠点となることを誓いあいました。

次の二年間は、法人化の準備を行う二年間でした。県と連携して、私としては、教育研究の向上になる法人化を目指しました。法人化は、入試や共通教育、特に語学教育や三学部のカリキュラム改革とか教員人事の新方式など、多方面で改革・改善を実現しようとするものになりました。

初代理事長としての最後の二年間は、法人化に伴うこれらの改革案を実施するとともに、法人による自主・自律的な運営を定着させることに努めました。その観点から後援会や保護者の方々にも連携やご協力をお願いしてききました。

報われることも多々ありました。学生の人たちがいろいろな賞を取ってきてくれます。「宮城大学娘すずめ」「宮城大学管弦楽団」には、必ず応援に行きました。就職率は、全国ランキングで上位、入学者学力も上昇と、就職難と少子化の中で健闘しています。専門的な大学評価も悪くありません。

残念なことは、学長は授業をもたず、「教え子」という学生の人が出来ないことです。ただし、私は、八回の入学式と八回の卒業式で、約六、〇〇〇人の学生の人たちに接しています。全学の教育方針に深くかわわっています。この人たちが全員が私にとっての「教え子」だと考えたく思います。

学生、卒業生、保護者の方々、教職員の方々、宮城大学というコミュニティをとものに構成した皆さま方のご多幸とますますのご活躍を祈っております。



交流棟から望む風景  
絵 小澤 尚 事業構想学部デザイン情報学科教授

### 謹んで地震災害の

#### お見舞いを申し上げます

このたびの東北地方太平洋沖地震により亡くなられた多くの方々のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。また、被災されました皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。被害を受けられた皆さまの生活が、一日も早く平穏に復することを祈り申し上げます。

宮城大学後援会  
宮城大学同窓会

## 宮城大学の取組み

食産業学部教授 博士(農学) 北辻 政文

大学においてもリサイクルをはじめとした環境教育・研究はこれから重要となります。ここでは、本学において著者が代表を務める二つの活動を紹介します。

「宮城大学エコキャンパス推進会議」は2010年1月に設置されました。「エコキャンパス」の定義は、「大学環境の維持・保全・美化、省資源・省エネルギー、廃棄物の排出抑制、再利用及び再生利用並びに教職員及び学生の環境意識の向上等に取り組むことによって実現される環境と調和したキャンパス」の実現です。設置後の日が浅いので大きなプロジェクトは行っていませんが、太白キャンパスを中心に①ごみの分別(紙、金属、電池、蛍光灯…)②コンポスト(枯れ葉などのたい肥化)③ピオトープの設置などが行われています。いずれもリサイクルを主眼にした取組みです。とくにピオトープは、パルプ工場の芯材(パルプにならない部分)等を使用し、学生の手作業で作製したもので、景観豊かなものとなりました。太白キャンパスにお越しの際には覗いてください。

「リサイクル材料プレキャスト研究会(RMPC研究会)」は、2010年4月に地域連携センターの中に設置されました。設立の目的は、大学、中間処理業、道路メーカー、コンクリート製品会社など、これまでは連携されていなかった異業種を一体化し、ベクトルの方向を一元化することによりリサイクル材の利用推進など循環型社会の構築への貢献をより強固なものにし、建設業の役割の重要性を一般の方にも再認識していただくようPRすることです。とくに宮城大学地域連携センターに事務局を置くことにより、中立性、大学のシーズ(将来に大きな発展を予想させる新技術)の活用、学会などの最先端の情報・技術の取得が期待でき、これまでになかった組織となりました。現在の会員は20社ほどで、国土交通省新技術(NETIS)取得、シンポジウムの開催など積極的に活動しております。

詳細はホームページ<http://www.myu.ac.jp/~rmcp/>をご覧ください。



ピオトープ(太白キャンパス)



RMPC研究会で開発した再生コンクリート

### 平成22年度 就職内定状況

平成23年3月3日現在

学部・学科・コース	卒業予定者数	進学希望者数	就職希望者数	内定者数	内定率	前年度同期	前年度最終	
看護学部 看護学科	97	2	88	86	97.7%	96.9%	100.0%	
事業構想学部	事業計画学科	101	9	81	76	93.8%	93.3%	96.6%
	情報システムコース	30	2	25	22	88.0%	90.9%	91.7%
	デザイン情報学科 空間デザインコース	43	10	26	23	88.5%	88.6%	94.1%
	デザイン情報コース	29	1	23	20	87.0%	89.7%	96.3%
食産学部	ファームビジネス学科	46	6	34	32	94.1%	86.7%	89.7%
	フードビジネス学科	56	4	48	48	100.0%	100.0%	100.0%
	環境システム学科	30	4	25	24	96.0%	87.5%	91.7%
学部計	432	38	350	331	94.6%	93.2%	96.6%	

研究科	卒業予定者数	進学希望者数	就職希望者数	内定者数	内定率	前年度同期	前年度最終
看護学研究科	9	0	0	0	0.0%	0.0%	100.0%
事業構想学研究科	21	1	16	11	68.8%	83.3%	83.3%
食産業学研究科	5	0	3	3	100.0%		
大学院計	35	1	19	14	73.7%	76.9%	84.6%

※進学・就職希望者以外の者は社会人学生、資格・試験準備、留学検討中等の学生

### 「宮城大学と保護者の集い」日程のお知らせ

○太白キャンパス 食産業学部 平成23年5月28日(土)

○大和キャンパス 事業構想学部 平成23年6月11日(土)

看護学部 平成23年6月18日(土)

時間は午後1時から午後4時くらいまでの予定です。

詳細につきましては、改めてご案内します。

### 謝恩の意を復興支援で伝えたい

2011年3月18日に予定していた三学部の謝恩会は、東日本大震災の影響により卒業式と併せて中止となりました。

学生生活において、皆が集う最後の場であり、お世話になった方々へ感謝の意を伝える大きな機会をなくしてしまつたことは、本当に残念でなりません。しかし、感謝の気持ちに胸に、皆がそれぞれの立場から現況に向き合い行動することこそ大切だと考えています。

謝恩会実行委員会では集金した運営費のうち、希望者の会費を義援金に代えさせていただきます。

私達は、宮城大学という拠れる場所があり、多くの方から支援をいただけたおかげで、四年間を通じて色々なことに挑戦し、未来を切り拓くことができました。この場をお借りして、支えていただいたすべての方に、心から感謝申し上げます。

平成22年度卒 謝恩会実行委員会代表

千葉 慎寿

### 事業構想・食産業学部合同企業説明会開く

## 厳しい就職情勢に 昨年を上回る参加者



1月19日に大学と後援会の主催で事業構想学部・食産業学部の3年生と大学院生を対象とした「合同企業説明会」を開催しました。

後援会のご支援をいただき、情報・産業プラザ(アエル)での開催は今年で2回目となりました。

説明会開催前には、「就職セミナー」も行われ、昨今の就職状況を反映し、昨年を上回る多くの学生が参加しました。

38企業の参加をいただいた説明会は、昨年度は約半数の学生の参加であったのに対し、今年度は、就職を希望する多くの学生が開始と同時に会場に集合し、夕方まで熱心に各企業を回っていました。

厳しい就職情勢の中でも、学生はこのような活動を通し、日々成長し、単に就職のためだけではなく、一人の社会人としての心構えも身につけてきていると思います。

大学においても就職支援を行ってまいります、御家族の皆さまの精神的な支えが学生の大きな力となります。御家庭におきましても学生の支援方よろしくお願ひします。

説明会に参加した学生にとって非常に有意義な会となりました。後援会の就職活動に対するご支援に厚くお礼を申し上げます。(事務部学務課 菅原隆之)



参加企業40社近くのブースが並ぶ会場=仙台駅前アエル

同窓会では、今回の災害を受け、特に就職活動中の学生さんが不利益を被らないよう、新卒採用・転職支援企業に在籍する卒業生を中心に「就活支援」を開始しております。先輩として、人的資源を使って解決できることは何でも相談に乗ります。いつでも連絡を下さい。

(宮城大学同窓会代表 畠山直樹)

関連WEB PC/携帯 <http://amyus.net/ss/>

メール連絡先 [ssact3@googlegroups.com](mailto:ssact3@googlegroups.com)

# 平成22年度式典無き卒業

## 3・11を心に刻み、若い力467人実社会へ

3月18日に予定されていた平成22年度卒業式は東日本大震災により中止になりました。

今年卒業を迎えたのは、看護学部(11期生)97人、事業構想学部(同)203人、食産業学部(3期生)132人に、看護学研究科9人、事業構想学研究科21人、食産業学研究科5人を合わせた467人です。今回、偶然ですが、卒業生の親子を代表して12組の方々に、卒業に向けてのメッセージを寄せていただいております。式典の様子に代えて馬渡学長のメッセージを添えの門出の言葉を記します。

3月11日、大地震に見舞われまして、大学では、地震当日から学生・教職員の安全確認・建物・施設の安全点検、そしてこの数日は、教職員・学生の支援活動の計画・実施と大震災対応の20日間でした。3月24日に大学が連携協定を結んでいる南三陸町と気仙沼市を見舞い、沿岸部を北上しました。県民の皆さま、後援会の皆さまに、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

### 大地震を経て、退任の日に

学長 馬渡 尚憲

卒業生・修了生の皆さまには、所定の期間の卒業を経て、学士・修士の学位記を手に入れられました。立派なことと思いきから祝福いたします。ただ、大震災で、式中止のやむなきに至りましたこと、お許しください。

宮城大学では、県民に支えられて学業を修め、「ホスピタリティ・アタムティ」の精神と「高度な実学」を身に付けていただきます。宮城県は今、未曾有の災害にあつています。大学でも、激甚被災への救援・支援・復興・再建に最大限の力を発揮するようにしておりますが、皆さまにも、それぞれの持ち場で、宮城の復興・再建に「尽力賜りますように」、お願いしておきます。皆さまの末永き「健勝」と「多幸」を祈ります。

宮城大学では、県民に支えられて学業を修め、「ホスピタリティ・アタムティ」の精神と「高度な実学」を身に付けていただきます。宮城県は今、未曾有の災害にあつています。大学でも、激甚被災への救援・支援・復興・再建に最大限の力を発揮するようにしておりますが、皆さまにも、それぞれの持ち場で、宮城の復興・再建に「尽力賜りますように」、お願いしておきます。皆さまの末永き「健勝」と「多幸」を祈ります。

(祖父)

無事卒業。学校、友人に深謝。これからは本番、心を失わず正々堂々の人生を歩んでほしい。

あつと言う間の4年間でした。無事に卒業できるのも支えてくれた家族のおかげです。本当にありがとうございます!! (K・M 環境)

良き友人に恵まれ本当に充実していましたね。特に学祭でのパフォーマンスは親も大いに楽しませてもらい、感謝です。(母)

すごく充実して楽しい大学生活でした。社会人になっても心配かけちゃうけど、少しずつ恩返ししていくね、少しずつね。(M ファーム)

充実した大学生活を終え社会人として踏み出す君へ。同僚、上司との人間関係を良好にし、3日、3ヶ月、3年の節目を大事にして励んでほしい。(生活応援団 父)

家族の大切さを感じた4年間でした。まだまだ心配と迷惑をかけると思いますが、一人前の看護師になれるように応援してください。松本泰記(看護)

授業、娘すずめを通じ、大勢の仲間を家族にも紹介してくれた娘。社会に出て、思い出と友人を糧として明るく頑張ってください。(母)

22年間、毎日笑って生きてこれたのは、安心できる実家と家族がいたからです。本当にありがとうございます。これからは溢れる家族でいようね。(H・K 看護)

卒業おめでとう。今日まで本当によく頑張ったね。心より敬意を表します。これから大きな一歩を踏み出さなければなりません。私たちの心の中にはいつも貴方がいます。ちゃんと見守るから(愛しのブーさん 母)

両親はじめ、先生方々に心から感謝しております。ありがとうございます。必ず素晴らしい看護師となって帰ってきます。(E・Y 看護)

合格した」と大泣きで報告してくれた事、今でも忘れられません。本気になって一年以上就職活動の為に遅くまで学んでいた君のことを思い出したたびに、俺のモチベーションも一気に上がります。本当にありがとうございます。(父)

4年間何も言わず支えてくれてありがとうございます。これからは支えられるのではなく、支えることができる人になりたいと思います。(Y・S 環境)

息子へ 私自身経験がなく大学生活のアドバイスはあまりできなかったけれど、もう卒業を迎えましたね。携帯で「就職試験

### 贈る言葉

卒業の約束 一、目標に向い前進する。一、悩んだ時は他人に相談し、自分で脱出する。一、自然を大切に、共有する。一、楽しい事は仲間と分かち合う。(父)

これからは社会という大海に向けての門出です。どんな時も自分を信じ、他人を思いやれる優しい女性になってくれる事と思います。厳しい世の中だけドマイペースでGO!! (母)

大学生活4年間で本当に大人になりましたね。最近はお母の事が叱られたり、励まされたり、自慢の娘に育ってくれました。ありがとうございます。そしてこれからもよろしく。(母)

感謝・思い・夢、この言葉を息子に託す。井上先生、最後まで見捨てず、面倒みていただき本当にありがとうございます。(父・母)

「己を信じる事」自分自身のこと、あなたの心が一番良く知っている。自分に素直に従い、勇気を持って社会人として挑戦、行動して下さい。人生はあなたのためにあるのだから。(父)

無事卒業、就職出来ホッと息、大学生活を満喫し、特に大学祭は親が心配するほど熱心でしたね。大学で得た知識、友人、活動等これからの社会人生活に役立たせ、大いに羽ばたいて欲しい。(父)

家族の愛を感じないで過ごした日はありません。別々の日々になる事を知らずに飛び出して来たけど、改めて、いつも応援してくれてありがとう。(遊佐芽貝美 計画)

先日父に「宮城大学に入学してよかったか」と聞かれました。「本当によかった」心からそう感じています。素敵な大学生活を送らせてくれてありがとう。(S・A 計画)

22年間ありがとう。これからは親としてだけでなく、社会人先輩として、色々なコトを教えてください。よろしくお願いします。(O(オー) フード)

今度はこちらが孝行する番。今まで受けた恩、どれくらい返せるかわからないけど、ゆっくりでも返せたらと思います。(J・O デ情)

ここまで育ててくれてありがとうございます。自立できないところもあるけれど、少しずつ成長します。(T・H デ情)

生活面のサポートいつも感謝しています。これから親孝行していくので、長生きしてくださいね。(二階堂貴志 デ情)

### 宮城大学と共に12年

事業構想学部教授 梶 功夫



今回ご登場いただくのは、「即座に明快な答えを返すスマートさとダンディな笑顔」が印象的な事業構想学部教授 梶功夫先生です。先生は大学で教鞭をとるかたわら、長年、本会理事会にも御出席いただき、学生支援のアドバイザーとして、大学との連携にご尽力いただきました。この春、定年退官されるにあたり、第2の人生として歩まれた「宮城大学時代」を振り返っていただきました。



いのだという意識に変わり、大変気が楽になったこと思い出します。

おかげで毎年6人から8人のゼミ生が研究室に来てくれて、在職中に約80人もの息子や娘ができ、今や大家族になりました。長男、長女はすっかりおとなになり、立派な社会人として活躍するように成長し、末っ子は就職活動に駆け回り、卒業研究で汗を流しています。毎年ゼミ生の同窓会を行うと、年々成長してゆく子供たちの顔を見ることができ、大変心強く感じています。まさに大学教員のだいご味かもしれません。

3月末をもって宮城大学での12年間の教員生活に終止符を打つことになりました。開学時からの創生期、その後の成長期、更には法人化に向けての移行期と長きにわたって務めさせていただきました。日本IBMというコンピュータ会社での実践的な知識を学生に伝授するという目的で、企業人から大学教員に転身してきました。しかし最初は大学と企業のギャップに大いに戸惑った数年間でした。

会社時代は、毎日接客するお客様の多くは、自分より年配の経験あふれる先輩でした。しかしながら、大学の授業を行う教室には、高校を卒業したての若い学生があふれていました。最初は、若者どこのように接すれば良いのか、どんなことに興味を持っているのか、共通の話題はあるのか、おじさん言葉で話しても良いのか、などなど、何事にも戸惑いがちでした。しかし、ある日、悟りを開くことができました。そう、彼らは私の息子と殆ど変わらない世代なのだ、という事です。自分の息子や娘(実際には娘はいませんが)と接するのと同じに接すれば良いのだ、父親として叱りつけたり励ましたりすればよい宮城大学の時代でした。



## 卒業研究・制作展 大学院含めデザイン情報学科 64人の力作揃う

2月18日(金)から23日(水)まで、せんだいメディアテークにおいて「宮城大学空間デザインコース・デザイン情報コース卒業研究・制作展+大学院事業構想学研究所修士制作展」を開催しました。事業構想学部デザイン情報学科の学生59人と、事業構想学研究所の大学院生5人が1年間の成果を展示し、会期中875人の方々にご覧いただきました。この会場での卒業制作展は、10回目になります。仙台の中心市街地にあり、他の団体の作品展も同時に行われることから、毎年大変多くの方々に来場いただきました。

私たちの暮らしを支える住まいや都市情報媒体の新しいあり方が求められているのかもしれない。環境や様々な社会問題が取りざたされる昨今、私たちの暮らしの空間を快適に、楽しくスマートに得られるような研究成果を期待します。



せんだいメディアテーク5Fギャラリー

来年は、会場が宮城県美術館に変わります。広瀬川の流れもつかげえる環境のよい場所ですので、ぜひ立ち寄りください。  
(デザイン情報学科 助教 相模誓雄)



### 教員からの一言

## より充実した 看護学教育をめざして

—素敵な看護職として成長するために

看護学部教授 安齋由貴子

私は、平成6年から宮城県の大学設置準備室に勤務し、宮城大学に関わって17年になりました。この17年間に様々な出来事があり、色々な経験ができました。しかし、経験を重ねても、今起こっていることに対して、どのように向き合い、自己決定していくか、いつも難しいと感じます。また、それは、年齢に関係なく重要なことであり、社会人になるとその自己決定に責任が伴います。学生はその責任の取り方を学ぶ時期でもあります。最近の学生は素直で前向きな学生が増えているように感じますが(あくまでも主観ですが)、一方で、ひ弱さも感じます。私たち看護職(看護師、保健師、助産師など)は、様々な看護の対象者の方々に会い、その方々の気持ちを理解し、その方々に寄り添って、必要なケアを提供する職業です。一般常識では考えられないような、今まで出会ったことがないような状況に陥っている方々に看護しなければならぬこともあります。そんな日々が続くと、自分自身も病的な状態に陥ってしまうこともあり、そんな自分へのケアも行いながら、看護職として成長していきます。最近はそれができずに離職してしまう若い看護職が増えています。4年間大学で看護学を学び、国家試験に無事合格して就職し、これから看護職として成長していこうという時に、退職したという情報が入るたびに残念に思います。一方で、卒業生を輩出して10年が経ち、活躍する卒業生も増えてきました。

今後、益々素敵な看護職として成長し活躍できるように、保護者の皆さまと共に、看護学教育の在り方や、卒業後の支援についても情報交換し、宮城大学がさらに充実した教育研究の場として発展していかなければと思います。

## 平成22年度卒業記念事業を行いました。

- ・卒業生へ記念品贈呈：  
フォトフレーム・校章ピンバッジ
- ・大学へ記念品贈呈：  
大和キャンパス  
ポータブルワイヤレスアンプマイク一式  
太白キャンパス  
木製ベンチ付き野外卓(一基)

### 編集後記

本紙の編集が終盤に差し掛かった3月11日、未曾有の大地震が発生しました。津波で多くの方が犠牲になり、ライフラインが寸断し、社会生活は今もなお大変混乱しています。

この混乱の中、今年の卒業生が巣立って行きました。残念ながら、式典で華やかに門出を祝うことはできませんでしたが、復興元年、大変意義深い若い力の巣立ちに、心からエールを送りたいと思います。

編集の再開にあたり震災を記録に留め再編致しました。1ヵ月遅れでのお届けとなりましたことをご了承ください。(S・I)

## 学長賞・学長奨励賞に学生7人と6団体が受賞

在学中に研究活動・課外活動・社会活動において顕著な成果をおさめ、大学の名誉を高めた学生に対して、学長賞・学長奨励賞が贈られます。平成22年度の受賞者を紹介します。

### 【学長賞】

- 空間デザイン3年ゼミ有志11人(事業構想学部デザイン情報学科)  
日中韓建築学会等主催、国際シンポジウム特別企画、学生国際設計競技「2050年の海域環境都市」応募作品「With the ocean」第3位入賞。
- 空間デザイン領域設計競技チーム5人(事業構想学研究所博士前期課程)  
日本建築学会主催、2010年度設計競技「大きな自然に呼応する建築」で、プロを含む応募433案の中から最優秀賞受賞。
- 佐藤史人(事業構想学部 事業計画学科4年)  
難関の国家資格「公認会計士」試験に合格
- 伊藤和貴(事業構想学部 事業計画学科4年)  
難関の国家資格「中小企業診断士」試験に合格

### 【学長奨励賞】

- 齋藤旬平、高松由和、古舘朋子、六角絵美(チーム)(看護学部看護学科4年)  
神経難病筋萎縮性側索硬化症(ALS)の在宅療養者の生活支援ボランティア活動の中心的役割を果たした。
- 遠藤奈緒(事業構想学部 事業計画学科4年)  
公園緑地管理財団主催「夢プラン'09アイデア部門」応募作品「虹物語～幸せの宝箱～」最優秀賞
- 西 恭平(事業構想学部 事業計画学科4年)  
公園緑地管理財団主催「夢プラン'09アイデア部門」応募作品「ミツバチプロジェクト」優秀賞
- 西原政比彦(事業構想学部 事業計画学科4年)  
ビジネスコンテスト「K I N G 2009」で所属チーム(6人1チームに振り分けられる)の策定したビジネスプランが優勝。
- 柴田梨紗子(事業構想学部デザイン情報学科4年)  
京都デザイン活用プロジェクト協議会主催コンペ、自由アイデア部門で「KIMONO BATH TOWEL(バスタオル)」を提案し、優秀賞受賞。
- 中村朝羽、土生健介、千葉和成(チーム)(事業構想学部デザイン情報学科4年)  
日経BP社主催、iアプリの開発コンテスト「iアプリ・アドバンスアワード2010」で、応募作品「プリチャー～囚われネズミの脱走～」が250本を超える作品から優秀賞受賞。
- マルシェ・ジャパンせんだい支援ボランティアチーム(食産業学部)  
青空市場「マルシェ・ジャパンせんだい」に出店した大学の販売ブースにボランティアで参加し、食材の魅力発信の向上に努めた。
- 醸造研究サークル(食産業学部)  
牛乳・卵を使用せず、甘酒ベースのアイスクリームを開発。今後の商品化に向け企業と取り組んでいる。
- 山村聖子(食産業ファームビジネス学科4年)  
本学で学んだ知識と野菜ソムリエの資格を生かし、ラジオ等で野菜にかかわる旬の話題を提供し、宮城大のPRに貢献した。